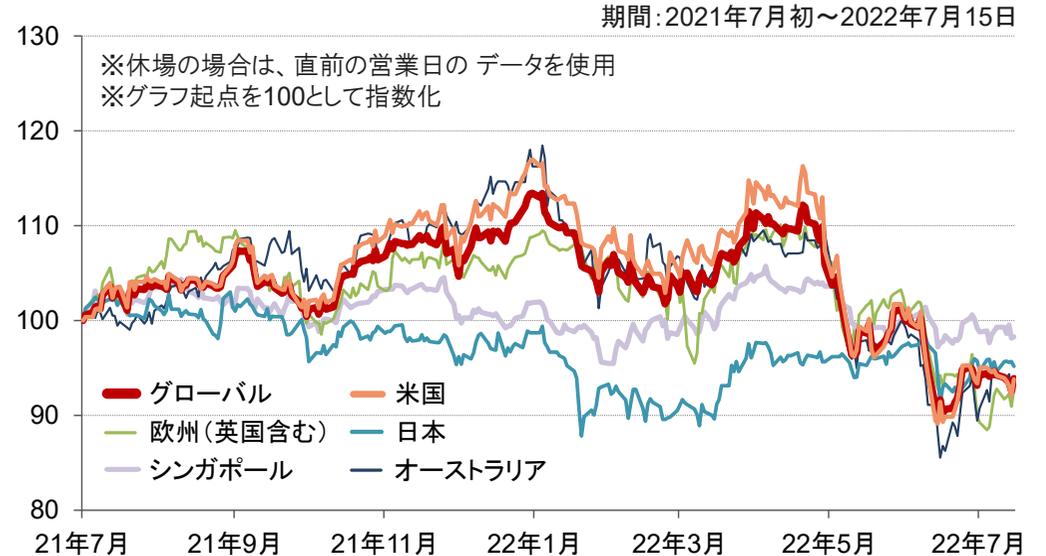


先週(7月11日～7月15日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は、前週末比で▲0.4%となりました。米国の6月の消費者物価指数(CPI)が1981年11月以来の高い伸びとなったことや、直近の利上げにおいて主要7カ国(G7)の中でカナダがはじめて1%ポイントの利上げに踏み切ったことなどが、REIT市場の重石となりました。

- 米国REITは、週初、CPIの発表を控えた警戒感などから軟調な動きとなりました。週中にCPIが発表されると、7月の利上げが1%ポイントになるとの観測が高まり、一段と値を下げました。しかしその後、7月のミシガン大学消費者調査(速報)において長期の期待インフレ率が予想以上の鈍化となり、7月の大幅な利上げ観測が後退したことや長期金利が低下したことを背景に、米REITは上昇に転じたものの、前週末比では▲0.4%となりました。
- カナダREITは、前週末比で▲2.8%となりました。週初から軟調な動きとなり、カナダ銀行(中央銀行)が大幅な利上げを発表すると、下落幅が拡大しました。
- 日本REITは、参議院選挙で自民党が圧勝したことなどを好感し、週初、大きく上昇しました。その後、米CPI発表を受けて値下がりが続いたものの、円安が進行したことによる海外投資家からの買いなどが下支えし、前週末比+0.6%となりました。

各国・地域のREIT価格の推移



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

- 2022年7月15日時点(1週間前=7月8日、3か月前=4月15日、6か月前=1月15日、1年前=2021年7月15日、3年前=2019年7月15日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
グローバル	654.09	▲0.4	▲14.4	▲14.1	▲8.7	6.0
米国	1,571.17	▲0.4	▲16.6	▲16.5	▲9.4	10.6
カナダ	1,228.40	▲2.8	▲18.1	▲17.1	▲14.5	▲0.1
欧州(ユーロ圏)	535.69	▲1.2	▲17.4	▲15.3	▲13.8	▲21.6
英国	93.92	0.5	▲14.3	▲12.7	▲5.3	6.7
日本	529.24	0.6	▲1.2	▲0.1	▲6.3	10.5
香港	817.41	▲1.5	▲3.8	▲4.7	▲12.3	▲26.8
シンガポール	738.79	▲1.0	▲5.0	▲0.8	▲4.5	0.7
オーストラリア	909.28	▲0.1	▲12.2	▲13.9	▲5.4	▲2.5

為替(対円)	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
米ドル	138.57	1.8	9.6	21.4	26.2	28.4
カナダ・ドル	106.35	1.2	5.9	16.9	22.0	28.6
ユーロ	139.63	0.7	2.1	7.1	7.6	14.9
英ポンド	164.32	0.3	▲0.5	5.2	8.2	21.7
香港ドル	17.64	1.7	9.4	20.3	24.8	27.9
シンガポール・ドル	98.98	1.7	6.3	16.8	22.0	24.4
オーストラリア・ドル	94.08	0.8	0.6	14.2	15.4	23.9

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- ラサール インベストメント マネジメント セキュリティーズからの情報および信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。